

模擬き裂試験体

独自技術で「模擬き裂」を製作

熱疲労を応用し、
金属材料に自然な
「き裂」を再現！



材質：SUS304 / き裂深さ：5.6mm

フィンランドの Truefraw（トゥルーフロー）社が製作する「模擬き裂試験体」は、自然に発生する「き裂」の形状、生成の状態に極めて近似していることが大きな特長です。

◆主な納入先◆

鉄鋼・航空・宇宙・原子力・船舶・鉄道・自動車等の各業界

◆主な用途◆

- 新しい検査法の検証、確立
- 検査技術の習得
- 検査機器の性能確認
- 性能検査の基準き裂として
- 部品形状の検討 等々

◆特長◆

- *「熱疲労」を利用し、天然の誘起割れと同じ特性を持つ「き裂」を生成することができます。
- *「長さ」、「深さ」、「き裂の位置」を制御することが可能です。（特許技術）
- *「き裂」の製作過程は完全に自動化。再現性があります。
- *溶接接合した母材、湾曲した母材など材料や複雑な形状の母材にも「き裂」を製作することが可能です。
- *「模擬き裂試験体」は、PT（浸透探傷試験）、UT（超音波探傷検査）、ET（渦電流探傷試験）、RT（放射線透過試験）など、ほとんどの検査方法に適合します。
- *母材の材質（SUS304、316、インコネル等）・寸法・形状・納期 等についても、お問い合わせください。
- *標準的な試験体（母材材質：SUS304 等）も数種類用意しています。
- *特殊な材質・形状でも製作可能です。

製品に関するお問い合わせは

日本総代理店

E-mail: info@hicon.co.jp <http://www.hicon.co.jp>



日本ハイコン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂2-4-1 白亜ビル
TEL03-3586-5618 FAX03-3586-5669